

小田切の人たちが大事にしているスポット

私たちが選んだ 小田切八景

明治44年(1911)制定。近江八景に因んで選んだもので、八景に添えた選歌は、県歌「信濃の国」の作詞者の浅井洸先生の作である。昭和36年(1961)には、制定50年を記念して歌碑が建立された。

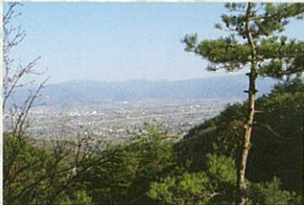
- 1 『富士ノ塔の晚霞』**(富士ノ塔)
「咲く花を風の心にまかせじと 山たちかくす霞かな」



- 2 『城山の秋月』**(本郷)
「あとふりて松風寒し城山の 昔を語れ秋の夜の月」



- 3 『セツ石の落雁』**(馬神)
「秋風に吹き送られて遠つ人 ところよの雁の声ぞ落ちくる」



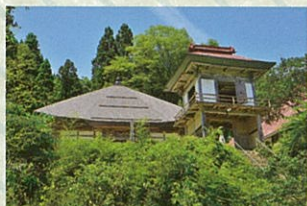
- 4 『両郡橋の帰馬』**(新橋)
「駒引いてとどろと渡る厚川の 夕日色どる虹の長橋」



- 5 『水内鎮神社の夜雨』**(久保)
「み社の老木の森はものふりて 淋しささふる夜半の雨かな」



- 6 『三福寺の晩鐘』**(小淵)
「かげろうの夕日かだぶく山寺の 鐘の音より暮そめにけむ」



- 7 『小野平の晴嵐』**(小野平)
「打ちわたす尾上の松に立ちなびく 嵐のかけし秋の朝きり」



- 8 『三竜神社の仙境』**(千木)
「三竜の神の宮居は世の中の ちりも及ばぬ所なりけり」



私たちのよりどころ 寺社仏閣

- 9 小田切神社**(国見)
旧村社、祭神は建御名方命。古くは諏訪社と称していたが文化11年改称した。



- 10 勝生神社**(大川)
旧村社、祭神は建御名方命。諏訪社と称したが文化11年改称、崖崩れで昭和39年現地に移転。



- 11 水内鎮神社**(久保)
旧村社、祭神は建御名方命他三神。文政7年改称。7年に一度の御柱祭は今も行われる。



- 12 三福寺**(小淵)
浄土宗で天正5年創建。小田切小学校は萬歳学校としてここで開校。松代真田家と関係深い。



- 13 浄蓮寺**(小野平)
真宗大谷派、長保2年創建。欄間彫刻は妻科の山崎儀作宮彫師。戸隠古道下峠の麓に建つ。



- 14 願生寺**(千木)
真宗西派、建暦2年創建。本堂は炎上で文政5年に再建。甲山山麓に建つ。



歴史を物語る 史跡

- 15 六地藏**(平林)
平林の沢に「深沢の湯」があり、文政7年地滑りで4名が埋死。この霊を弔うため姉妹が建立した。



- 16 小田切ダム**(新橋)
東京電力小田切発電所。厚川両郡橋上流に昭和29年に完成した。



- 17 三十三観世音石仏**(花上)
旧大町街道の難所で人馬の転落事故も多く、安政の頃この山道に供養のため置かれた。



- 18 裾花凝灰岩白土**(馬神)
裾花凝灰岩が侵食され、流紋岩や凝灰岩の地層が深くえぐられ、すどく尖った白色の崖が露出している。



- 19 吉窪古墳群**(本郷)
吉窪城址一体に22基あったが、形を残しているのは4基のみ。近くには馬神古墳もある。



- 20 天然ガス**(舟久保)
小淵・舟久保では天然ガスが自噴しており、ガラス工場ができたポンプや金魚鉢など製造した。



- 21 三竜神社風穴**(千木)
神社裏に2か所あり、かつては蚕種の保存に利用されていた。一帯の石山からも冷気が漂う。



- 22 裾花ダム**(下小鍋)
長野県営では最初の多目的ダムで、唯一のアーチ式コンクリートダムである。昭和44年に完成した。



信濃三十三観音札所

- 23 西明寺**(本郷)
信濃三十三観音札所の第8番札所。鎌倉幕府の北条時頼が出家し当地を訪れ名付けた。現地には嘉永5年に移転、大火で焼失し昭和18年に再建した。本尊は千手観音。



日本百景

- 24 裾花峡**(下小鍋)
裾花川の清流が造り出す景勝地。昭和12年新聞社が全国募集し入選したもの。ダム建設で昔の様相は一変したが、泥岩の間に安山岩や集塊岩の奇岩は裾花大橋や紅葉と共に美しい。

